

園聖句：私はまことのぶどうの木、あなたがたはその枝である。(ヨハネによる福音書15章5節)

年主題：「ひろがる想い～えがおいっぱい～」 月主題：にこにこ

月聖句：野の花がどのように育つのか、注意して見なさい。マタイに福音書6章28節

乳児月目標・保育者に受け止めてもらい、安心して好きな遊びを見つげられる。

- ・遊びや自分の思いが大切にされていることを感じる
- ・まわりの人に気づき 共に過ごすことを喜ぶ
- ・安心できる大人のそばでありのままでいられる。

幼児月目標・礼拝を通して、愛されていることを感じる。

- ・お友だちと一緒に、やりたいあそびに心を動かす。
- ・草花や木々の育ち、虫などの生き物に触れ、命を感じる。

今年度は、新しいお友達23人と新しい職員6人を迎えて保育がスタートし、早1ヶ月が経ちました。新入園児のお友だちも進級児のお友だちも少しずつ園生活のリズムに慣れてきた様で、笑顔も多く見られるようになりました。この季節は、子ども達と共に神様からいただくいのちの恵み、その一つひとつを宝物のように大切に過ごしていきたいと思えます。近年では、これまでも増して様々な感染症の流行が見られるようになっていきます。引き続き子ども達が安心して園生活を送れるよう取り組んでまいります。ご家庭におかれましても感染予防にご協力ください。(園長 中江奈穂美)

## 5月の行事予定



- 1日(水)～6月13日(金) ゆり個人面談期間 15:30～  
 8日(火) お弁当の日 \*ゆりぐみは、八瀬野外保育センターに出かけます。  
 9時までに朝の準備が終えるように登園して下さい。雨天でも出かけます。  
 12日(月) さくら・ばら ことりグループ懇談会 9:15～10:45(ホール)  
 12日(月)～30日(金) ちゅうりっぷぐみ一期参観・面談期間 10:00～12:30  
 (面談は、12:00～)  
 13日(火) さくら・ばら さかなグループ懇談会 9:15～10:45(ホール)  
 14日(水) さくら・ばら どうぶつグループ懇談会 9:15～10:45(ホール)  
 16日(金) ゆり クッキング(カレー作り)

\*エプロン・三角巾を、この日までにロッカーに入れて置いてください。

忘れてしまうと衛生上クッキングは出来なくなります。爪も短く切ってください。

- 19日(月) 大人に感謝する日の礼拝  
 27日(火)・28日(水) さくら・ばら・ゆり 尿検査  
 29日(木) お誕生日参観の日 たんぽぽ～ゆり 9:30～12:00

- ◇園庭開放 20日(火) 9:45～10:45 7組まで  
 ◇ぶどうにあつまれ 13日(火) 9:45～10:30 5組まで  
 ◇おいでよ赤ちゃん 27日(火) 9:45～10:30 5組まで  
 \*それぞれ、事前に申し込みをお願いします。



\*卒園児あそびにおいでよ 31日(土)(9:00～11:00) 対象児:1年  
 ・前日までに申し込みをしてください。

## 6月前半の予定をお知らせします。

2日(月) 花の日礼拝 \*この日は、お花を一輪持って来て下さい。

2日(月)～13日(金) たんぽぽ面談期間 13:30～・2:00～

3日(火) お弁当の日

ゆり: 西京消防署訪問 \*9時までに朝の準備が終えるように登園して下さい。

水筒を持って出かけます。ひもを付けて持って来て下さい。

4日(水) さくら・ばら: 桂消防署訪問 \*9時までに朝の準備が終えるように登園して下さい。

内科健診 13:30～

9日(月)～10日(火) ゆり: 八瀬野外保育センター お泊り保育



## 《春を見つけたよ!》

今年は早くから気温が上がり、散歩に出かけるとたまねぎや夏野菜の苗をたくさん植えている畑を見たり、公園では藤の花が綺麗に咲いた藤棚を見つけました。園庭では子ども達が植えたちゅうりっぷの球根が芽を出し、色とりどりのちゅうりっぷが綺麗に咲きました。築山の草の中にはダンゴムシやアリがいるのを見つけ、子ども同士で見せ合いが始まり、春をたくさん見つけて楽しんでいました。園庭や散歩に出かけた時に四季を感じられるものを子ども達と探していきたいと思えます。

## <大人に感謝する日の礼拝>

5月の第二日曜日は「母の日」です。

園では「大人に感謝する日」として毎年取り組ませて頂いています。

母の日の由来は、アメリカのアンナ・ジャービスさんが最愛の母を

亡くしたあと、母への感謝をあらわす日を創設しようと運動を

開始したのがはじまりといわれています。

カーネーションはアンナさんのお母さんが大好きな花だったそうです。

子どもたちは、お母さん・お父さんそしてまわりの大人から限らない愛情に

包まれ育てられることで自らの存在の意義を確信するといわれています。

子どもたちとともにいる幸せをいっぱい感じたいものです。



## 《職場体験や保育者を目指している学生の受け入れをしています》

保育の現場には、色々な養成学校で保育者を目指して勉強している学生が実習に来ます。特に桂ぶどうの木こども園には、同一法人の中に京都保育福祉専門学院があります。保育の様子を実際に見て、触れる学びは保育の仕事より深く知る為に大切な場になっています。実習生だけでなく、中学生チャレンジ体験・高校生インターンシップやアルバイトで受け入れている学生もいます。登園・降園時に学生さんの出入りがあり、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

## 《保育に取り組むにあたっての専門的助言》

当園の保育に取り組むにあたっては、様々な専門的な指導や助言をいただきながら進めています。京都保育福祉専門学院の先生(保育のてだてについての保育相談)、京都市保育園連盟の相談員の先生(食育についての保育相談、障がい児統合保育についての保育相談)、聖ヨゼフ医療福祉センターの先生(子どもの体の成長についての保育相談)です。中には、園に来ていただいて実際に保育の様子を見て頂いて相談する場合もございます。それらの助言を活かしながら取り組みを深めさせて頂いています。